売上は①請求書発行時と②入金時に二回仕訳を行う

毎月発行される請求書をもとに入力します。給与明細は入力しません。

①請求書発行
売上の計上

②入金
売掛金の消込

1/31

2/28

アーティストの報酬が、タックスナップに登録する売上です。

請求書をもとに毎月タックスナップへ入力してください。

請求書

令和6年1月31日

Hair Salon XXX
部門名

御中　甲野　太郎
東京都●●区●●1-2-3
ABCマンション301号室

【請求項目】

	金額
1月分　業務報酬額	338,110
請求総額　【　①　】	338,110
（内　消費税の額　10%	30,737

【控除項目】

1月分　確定申告サポート利用料	4,400
1月分　店舗使用料	49,500
1月分　プロデュース料	51,000
1月分	
控除合計　【　②　】	104,900
（内　消費税の額　10%	9,536
差引請求額　【　①－②＝③　】	233,210

備　考　欄	
【振込先口座】	
銀行名：	××銀行
支店名：	やま支店
預金種類：	普通預金
口座番号：	0012345

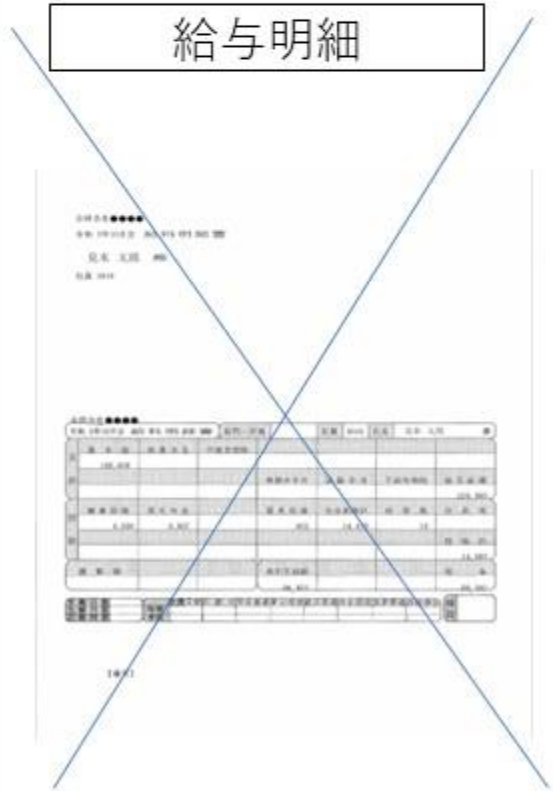
合同会社からの給与明細は、**毎月タックスナップへは登録しません。**

年に一度、1年分の給与情報が記載された、

源泉徴収票が発行されます。

年に一度、この源泉徴収票をタックスナップへ登録します。

給与明細



年1回登録する

源泉徴収票

売上の計上方法～請求書発行時～

すること

売上を計上する

毎月発行される請求書をもとに入力します。給与明細は入力しません。

手順

1．仕分けタブ→追加
2．「手入力」で仕分けを計上
3．収入タブ→任意の設定
4．「作成される仕訳」から入力
5．右の仕訳例に従い計上

請求書

令和6年1月31日

Hair Salon XXX　　御中　甲野　太郎
部門名　　東京都●●区●●1-2-3
ABCマンション301号室

【請求項目】

	金額
1月分　業務報酬額	338,110
請求総額　【　①　】	338,110
(内　消費税の額　10%	30,737

【控除項目】

1月分　確定申告サポート利用料	4,400
1月分　店舗使用料	49,500
1月分　プロデュース料	51,000
1月分	
控除合計　【　②　】	104,900
(内　消費税の額　10%	9,536

差引請求額　【　①－②＝③　】	233,210

備　考　欄	
【振込先口座】	
銀行名：	××銀行
支店名：	やま支店
預金種類：	普通預金
口座番号：	0012345

請求書

F 令和6年1月31日

Hair Salon XXX　　御中　甲野　太郎

部門名　　東京都●●区●●1-2-3

ABCマンション301号室

【請求項目】

		金額
1月分　業務報酬額		338,110
請求総額　【　①　】	A	338,110
（内　消費税の額	10%	30,737

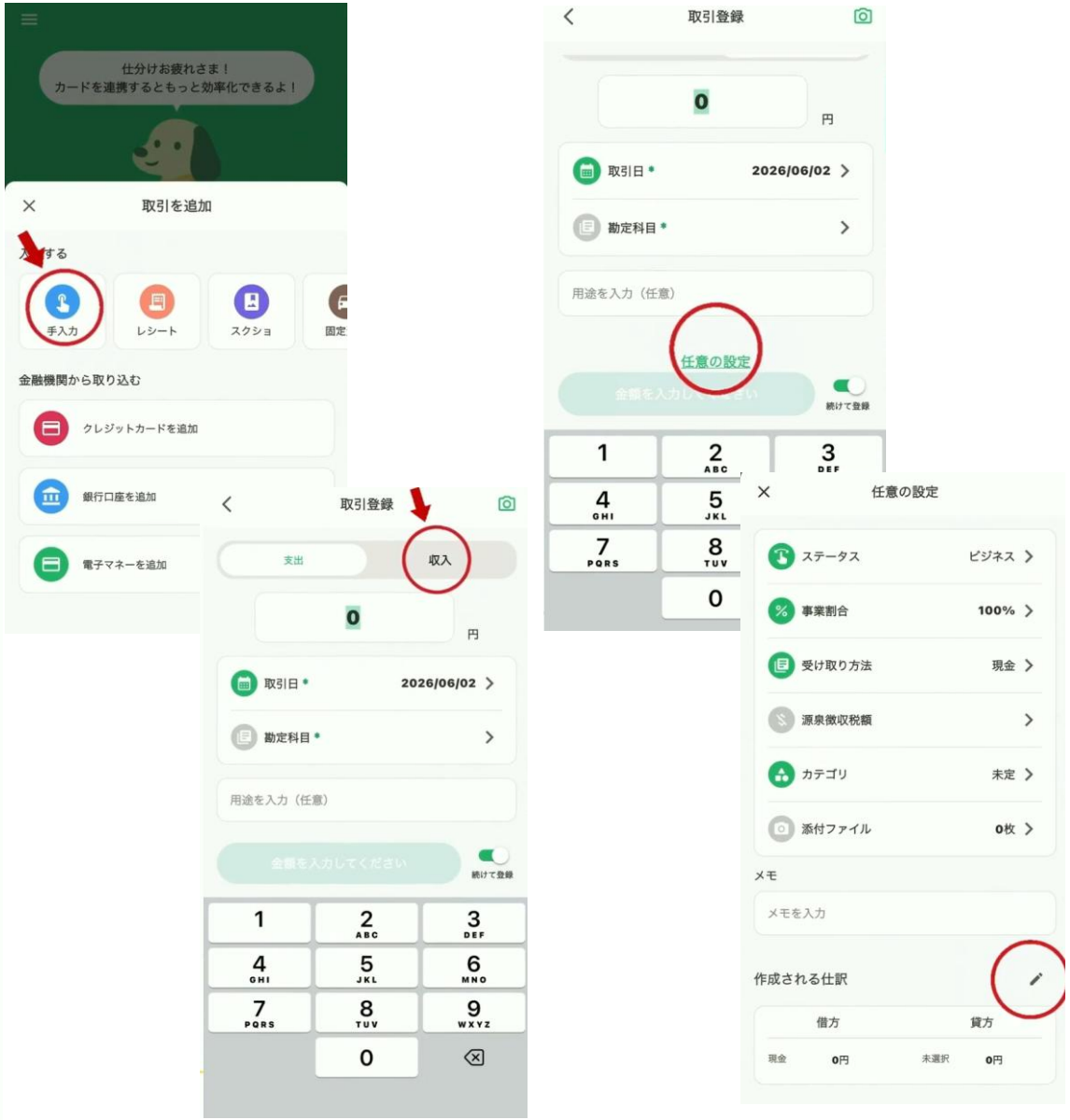
【控除項目】

1月分　確定申告サポート利用料	B	4,400
1月分　店舗使用料	C	49,500
1月分　プロデュース料	D	51,000
1月分		
控除合計　【　②　】		104,900
（内　消費税の額	10%	9,536

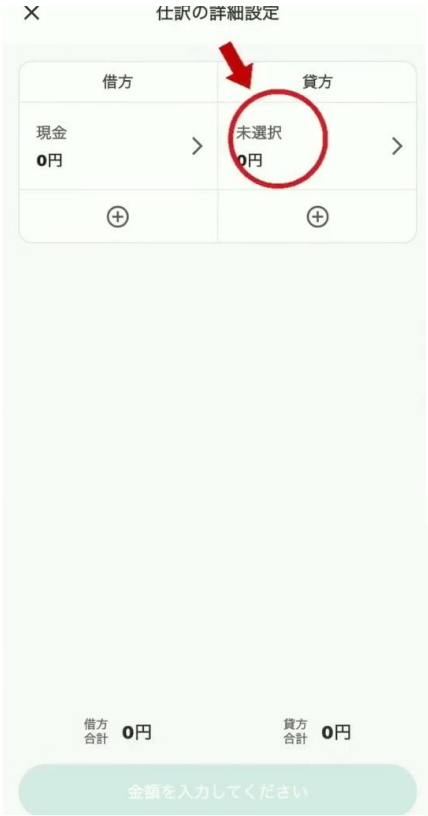
差引請求額　【　①－②＝③　】	E	233,210

27:52

①請求書発行時の売上の計上



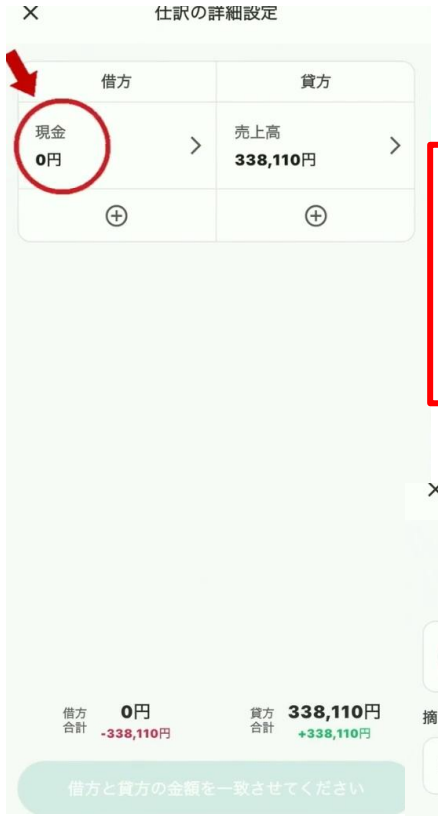
A 売上（請求総額）の入力



請求書のAの請求総額の数字を入力する

勘定科目は売上高を選択する

B 確定申告サポート利用料の入力

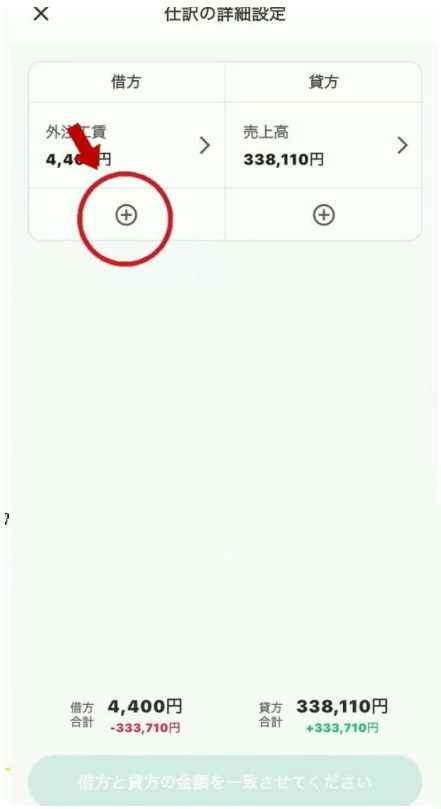


請求書のBの確定申告サポート料の数字を入力する

勘定科目は外注工賃や支払手数料を入力する。

勘定科目を検索する

C 店舗使用料の入力



請求書のCの店舗使用料の数字を入力する

勘定科目は地代家賃を選択する

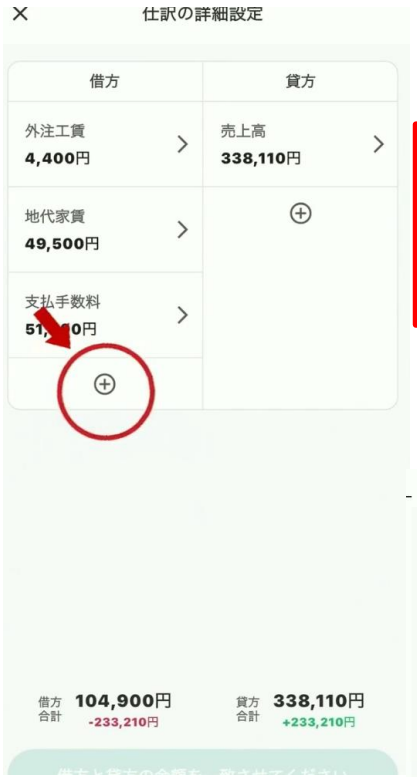
D プロデュース料の入力

請求書のDのプロデュース料の数字を入力する

勘定科目は外注工賃や支払手数料を入力する。

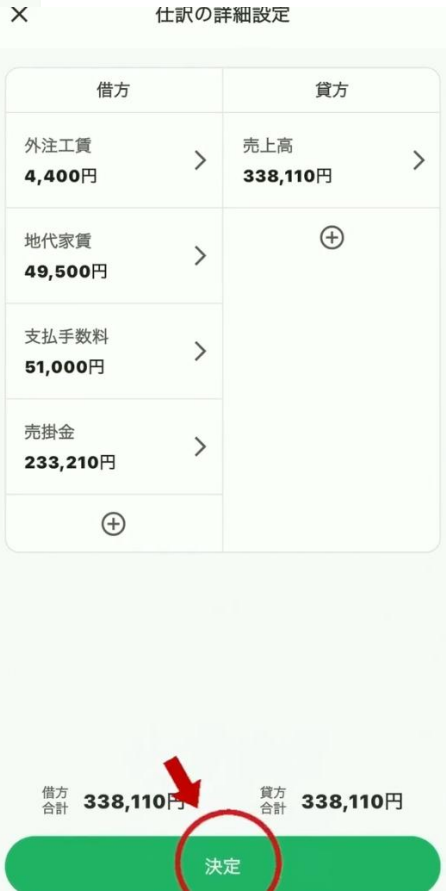
勘定科目を検索する

E 差引請求額（未入金）を入力する



自動で算出される金額がEと一致しているか確認する

勘定科目は売掛金を選択する



F 日付を入力する

登録できているか確認する！

入力する日付はFの請求書の日付を入力する。

取引を登録しました。と出れば完了！

②入金時　売掛金の消込の入力

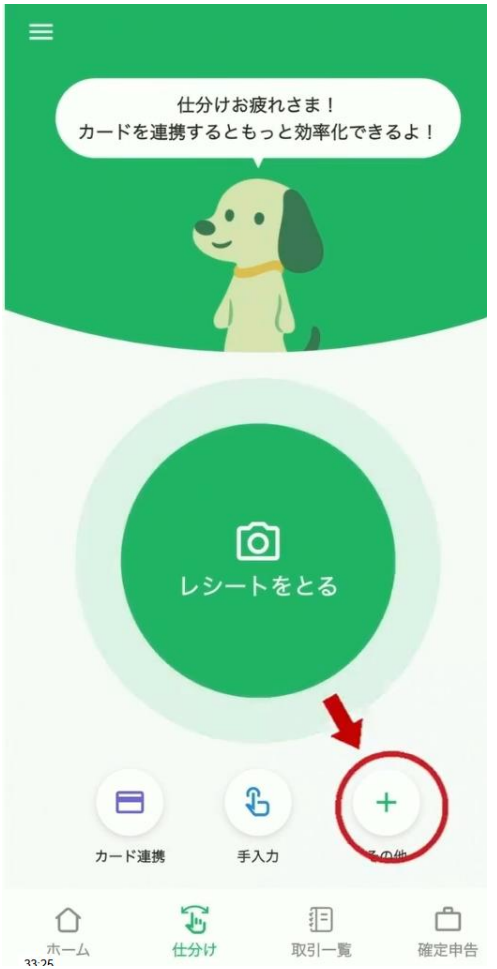
売上の計上方法～入金時～

すること

入金を計上する

手順

1．仕分けタブ→追加
2．「手入力」で仕分けを計上
3．収入タブに切り替え
4．「売掛金」で計上



売掛金の消込を入力する①

収入タブにする

実際に入金された**E**の金額を入力する

実際に入金された日を入入力する

売掛金の消込を入力する②

勘定科目は売掛金を選択する

取引を登録しました。と出れば完了！